

## 和歌山県の魅力

自分時間が充実、理想のワークライフバランス!

### 1. 充実した暮らし

都会と比べて、和歌山県は物価も家賃も安いので、趣味や遊びに使えるお金が充実します。若い時から、自由に使えるお金で、プライベート時間を充実させませんか?

	和歌山	全国	東京	大阪
①大学卒初任給	223,600円	225,400円	230,600円	227,600円
②25~29歳の平均月給	239,100円	231,110円	265,200円	258,400円
③家賃平均月額	41,094円	55,609円	80,918円	55,614円
④消費者物価地域差指数	99.4	100.0	104.5	99.8

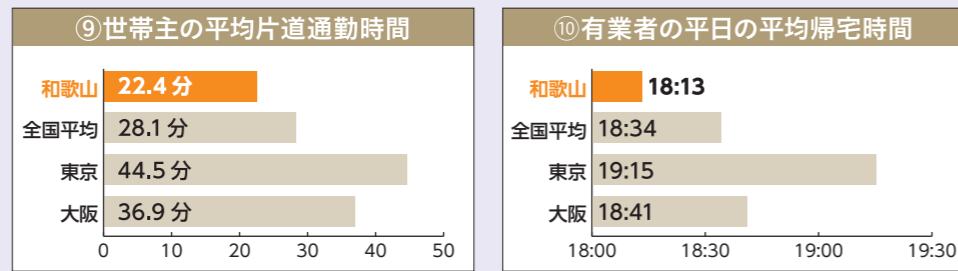
### 2. マイホームのある暮らし

和歌山県では、比較的安価で大きい家を建てることができます。大きな家でゆったりとした生活を過ごす人生を考えてみませんか?

	和歌山	全国	東京	大阪
⑤1㎡あたり住宅地平均価格	35,700円	53,372円	389,100円	152,200円
⑥土地付住宅建築費	3,972万円	4,456万円	6,105万円	4,881万円
⑦持ち家の延べ面積	124.4㎡	119.9㎡	93.3㎡	101.8㎡
⑧持ち家比率	73.0%	61.2%	45.0%	54.7%

### 3. 自分時間のある暮らし

和歌山県では、通勤時間が短く、帰宅時間も早いので、自分や家族との時間を多く持つことができます。早く帰ってワークライフバランスを充実させませんか?



出典 ①②R3賃金構造基本統計調査【企業規模10人以上・所定内給与額】(厚生労働省) ③⑦⑧⑨H30住宅・土地統計調査(総務省統計局) ④R3小売物価統計調査(総務省統計局) ⑤R4都道府県地価調査(国土交通省) ⑥R3フラット35利用者調査(住宅金融支援機構) ⑩R3社会生活基本調査(総務省統計局)

## 和歌山県職員の職種ガイド

和歌山が最高!だと子どもたちが思う未来を!

# #情報職

あなたが和歌山県の未来をつくり、和歌山県はあなたの未来をささえる。



ICTを活用して、和歌山から日本を一緒に盛り上げていきませんか?



## 和歌山県職員採用情報



### 公式SNSでも情報発信中

採用説明会の開催情報、職種紹介などの情報をタイムリーにお届けします。



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

上記QRコードより最新の情報を確認いただけます。試験案内、申し込み方法、仕事内容の詳しい紹介、先輩職員のインタビューなど、情報が盛り沢山なので、ぜひチェックしてください。

問い合わせ先 和歌山県人事委員会事務局 TEL 073-441-3763 FAX 073-433-4085



## 県庁職場ガイド

和歌山県庁に訪問し、現役の県職員と直接お話いただくことができます。県の施策、仕事の魅力などをお伝えし、皆さんの県の仕事などに関する疑問や質問にもお答えします。

**申込方法** 上記QRコードよりお申し込みください。

**対象者** 和歌山県職員をめざしている方

**受付期間** 随時受け付けています。

**訪問日時** 申込み受付後、日程調整の上、メール等により連絡します。(土・日・祝日及び12/29~1/3を除く)

…………… **問い合わせ先** ……………

和歌山県総務部 人事課 人材育成班  
TEL 073-441-2138 FAX 073-422-9312  
✉ e0102001@pref.wakayama.lg.jp

# # 情報職

和歌山県では古くから全国に先駆けてコンピュータ技術の専門職員を採用してきた長い歴史があり、行政×ICTにおける成果について多くの知見やノウハウを有しております。

約30名の情報職が様々な部署でコンピュータの専門知識やICTを生かして活躍をしています。

主な配属先としては、行政DXの推進(行政企画課)、データ利活用の推進(データ利活用推進センター)、津波予測システムや防災ナビアプリの導入(防災企画課)、県域行政超高速通信網や庁内ネットワーク等の基盤整備(情報基盤課)など、いずれも専門職としての立場からICT推進のための各政策に大きく関わり、着実に事業達成に導いてきています。

さらに、その活動は県内に留まらず、首都圏にあるデジタル庁、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)や国研海洋研究開発機構(JAMSTEC)などにも出向し、全国的なシステム展開や最先端の共同研究などに携わっています。

## キャリアパスモデル

年齢	主な役割
22歳 技師	公務員として基本的な知識を習得し、担当業務の確実な実行など
30歳 副主査	収集した知識を担当業務に生かす。課題解決への提案など
35歳 主査	担当業務に対する効率化・改善、適切な進行管理など
44歳 主任	班内業務の主軸的な立場、班長の補佐など
47歳 班長	班内業務の適切な進行管理、マネジメント
51歳 主幹	課内業務の主軸的な立場、課長の補佐など
54歳 課長	課の目標・成果の設定・政策決定、課員の評価・人材育成、職場環境づくり

※当モデルはあくまで一例です

## 「全国の先駆け」

大きな成果の1つとして、平成30年4月の総務省統計局の誘致と県データ利活用推進センターの発足があります。全国的先駆けとして、データ利活用の重要性・有用性の発信(シンポジウムの開催)、データ分析・研究への取組、ビジネスパーソンから学生までの幅広い人材育成支援などについて、「和歌山を拠点」として産官学で密に連携しながら、その役割を果たしています。

このような職場環境下で、自分の力を大いに発揮したい方、新卒・民間経験者を問いません。一緒に行政×ICTを武器に、和歌山を盛り上げていきませんか。さらには、和歌山から日本を盛り上げていきませんか。ぜひ、本県の「情報職」にチャレンジしていただければと思います。



## 「働き方改革、社会構造の変革」

ICTを生かした「職員の働き方改革」や「社会構造の変革」に情報職が大きく寄与しています。

「職員の働き方改革」の事例では、技術面からの対応としてパソコンの軽量化や庁内の無線LAN化などにより、庁内外での持ち運びによるペーパーレス化・省力化や在宅勤務、リモートワークなど効果を発揮しています。

「社会構造の変革」の事例では、全国の自治体に先駆けて取組を開始した「ワーケーション(Work+Vacation)」があります。テレワークなどを活用し、リゾート地等普段の職場とは異なる場所で地域の魅力に触れながら仕事を行う取組です。休暇の取得促進だけでなく、地域主体との協働や地域の資源を活用したイノベーションの創出や新しい生き方の発見などに繋がっています。



情報基盤課

川西 百花 技師

令和3年度採用

### これまでの経歴

R3~R4年度 情報政策課(技師)  
R5年度~ 情報基盤課(技師)

### 1日の流れ

9:00	9:30	12:00	13:00	13:30	15:30	17:00	17:45
出勤	職場で作業	昼休憩	職場で作業	職場で作業	職場で作業	職場で作業	退勤
・メールチェック	・打合せ 資料作成・準備	・職場で 昼食	・メール チェック	・委託事業者と 打合せ	・問い合わせ 対応	・明日の準備等	

## WORK

### 担当した仕事の内容・魅力

情報職には民間企業出身者も多い中、私は民間での経験なしで入庁しました。採用後の1年目は、照会などの庶務的な業務を担当し、県庁組織の在り方や行政事務の基礎を学びました。2年目以降は、庁内のネットワークや県域行政超高速通信網の運用管理などを担当し、庁内からの問い合わせ対応や外部関係者との協議、ネットワークの設定作業などを行っています。

情報職の魅力は、エンジニアと行政事務の中間的な役割として、情報通信技術に関する知見を持って、県庁内外のデジタル化に携わることができるという点だと感じています。住民の皆様と直接やり取りする業務が少なく、貢献できているのかという実感は掴みづらいのですが、行政サービスの基盤維持やセキュリティの担保を行い、ICTを用いたより良い職場環境づくりに努めることで県職員の業務効率向上を図り、住民サービス向上に間接的に貢献することができるという点が、情報職のやりがいだと考えています。



## LIFE

### 私のわかやまライフ

音楽鑑賞と映画鑑賞が趣味です。サブスクリプションサービスを活用してお家でござろろしがちなのですが、週休2日のうち1日は、ショッピングや映画館に行く等お出かけして過ごしています。

### メッセージ

民間での経験なしで入庁したことから、社会人の基礎も知らず情報通信技術に関する知識や経験も乏しいのですが、技術研修を受講し、先輩方からのレクチャーとサポートを受けながら業務を進めています。入庁してから学ぶことのできる環境は整っていますので、デジタル化に興味ある方は、ぜひチャレンジしていただきたいです。情報通信技術を通じて和歌山県の活性化に貢献するため、皆様と一緒に働くことを楽しみにしています。

## WORK

### 担当した仕事の内容・魅力

私は入庁以来、県庁内ネットワークの運用管理を中心に、防災企画課にて防災情報システムや津波予測システムの運用などの業務に、産業技術政策課では県内企業のデジタル化支援などの業務に携わりました。

現在所属する企画総務課(データ利活用推進センター)では、EBPM(証拠に基づく政策立案)への取組やデータを活用した行政課題解決に関する分析研究、未来を担うデータサイエンス人材の育成、データ利活用による企業支援などの業務を行っており、和歌山の地が「日本のデータ利活用拠点」となることを目指し取組内容をシンポジウムなどを通じて情報発信しています。

デジタル技術の進歩に伴い、容易にデータを収集することが可能となり、これからは蓄積されたデータをどう活かすかがますます重要となります。

県庁の内外等にとらわれず、県民のみなさん全体のデータ利活用を支援する、大変やりがいのある仕事だと感じております。

## LIFE

### 私のわかやまライフ

週休は2日あり、1日はバイクで出かけたり買い物したりと外に出かけるように、もう1日は撮りためた映画をみたり音楽を聴いたり家でのおんびり過ごしています。

企画総務課

石橋 正信  
データ利活用推進班長

平成12年度採用

### これまでの経歴

H12~H16年度 情報システム課(技師)  
H17~H19年度 県立医科大学総務課(技師)  
H20~H24年度 情報政策課(副主査)  
H25年度 医務課(主査)  
H26~H27年度 総合防災課(主査)(国立研究開発法人海洋研究開発機構へ派遣)  
H28~H29年度 防災企画課(主査)  
H30~R2年度 情報政策課(主査)  
R3~R4年度 産業技術政策課(主任)  
R5年度~ 企画総務課(データ利活用推進班長)

### 1日の流れ

9:00	9:30	10:30	12:00	13:00	14:00	15:00	17:00	17:45
出勤	職場で作業	職場で作業	昼休憩	職場で作業	職場で作業	職場で作業	職場で作業	退勤
・メール チェック	・協議資料 作成・準備	・国センター との協議	・職場で 昼食	・協議内容の まとめなど	・来客対応	・事務処理	・メール チェック	



### メッセージ

県庁の業務は多岐に渡り、配属される部署により業務内容は様々です。ただし、デジタルや情報という分野を必要としない業務はないかと思えます。みなさまの経験・知見をフル活用し、これからの和歌山県と一緒に盛り上げていきましょう。